

## 2023\_1114「金色の山 (写真)」日々の理科 3386号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

落葉松 (カラマツ) は、名の通り「落葉する松」の意味です。実は針葉樹もすべての種類が「落葉」します。しかし、針葉樹のほとんどは常緑樹なので、葉を落とす時期はほとんどが春です。カラマツが「落葉松」なのは、落葉広葉樹と同じように「秋に落葉する」という意味です。日本で普通に見られる針葉樹で、秋に落葉するのは、落葉松 (カラマツ) とメタセコイア (アケボノスギ) の2種類だけです。

落葉松は成長が速く、材も腐りにくく木造建築にも使えるので、群馬県でも戦後に盛んに植林されました。その落葉松が今は高木に育ち、山を覆っています。東日本震災の時は、建築材として供出されたのも落葉松でした。高崎市街から榛名を通り、旧倉渕村から北軽井沢へ抜ける峠道は、「落葉松街道」と呼んでも良いほど、たくさんの落葉松に囲まれています。今の時期はその木々が見事に黄葉し、夕暮れ時には山全体を金色に染めています。

(2023年11月中旬／高崎市倉渕町川浦)

